



2024年5月15日

各位

会社名 株式会社 テクニスコ
代表者名 代表取締役社長 関家 圭三
(コード番号: 2962 東証スタンダード市場)
問合せ先 常務取締役経営サポート本部長 相原 正行
(TEL. 03-3458-4561)

通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2023年12月15日に公表した2024年6月期(2023年7月1日~2024年6月30日)の通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

1. 当期の連結業績予想数値の修正(2023年7月1日~2024年6月30日) (単位: 百万円未満切捨て、%)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想(A)	5,400	80	136	63	7円04銭
今回修正予想(B)	4,680	△440	△340	△310	△34円65銭
増減額(B-A)	△720	△520	△476	△373	△41円69銭
増減率(%)	△13.3	-	-	-	-
(参考) 前期連結実績(2023年6月期)	5,347	273	329	222	34円12銭

2. 修正の理由

ヒートシンク事業につきましては、前期の売上で約6割を占める中国市場において住宅市場等の落ち込みによる建設需要の減退傾向、それに伴う経済状況の悪化により顧客需要の急回復にブレーキがかかり、販売計画数量の達成が厳しい見通しとなったために、通期売上高見込みは当初計画(2023年8月14日発表)よりも約6億円減少することを前回発表予想(2023年12月15日発表)でお知らせしました。

その後、中国市場の落ち込みが想定以上に長引き、また、欧州の景況感の悪化も厳しいことなどから、通期売上高見込みは前回発表予想より約4億円減少いたします。

ヒートシンク事業の中のシルバーダイヤ製品に関しては、前回発表予想(2023年12月15日発表)で、戦争等の世界情勢の不安定化により、顧客に試作案件の評価延伸や進捗遅れがみられたために、通期売上高見込みが当初計画(2023年8月14日発表)よりも約2億円減少することをお知らせしました。

その後も、顧客における評価の遅れがみられることから、通期売上高見込みは前回発表予想より約1億円減少いたします。

ガラス事業につきましては、前回発表予想(2023年12月15日発表)で、既存取引先よりライフサイエンス市場向けのガラス製品あるいは産業機器用途の圧力センサー等の引き合いが旺盛な状況は変わらないものの、欧米市場の新規案件獲得が遅れる見込みのため、通期売上高見込みが当初計画(2023年8月14日発表)よりも約1億円減少することをお知らせしました。

その後も、新規案件の獲得が遅れがみられることから、通期売上高見込みは前回発表予想より約2億円減少いたします。

こうしたなか、期中において投資抑制や経費削減に取り組んでおりますものの、売上収益の減少をカバーするまでに至らず、計画の利益率にも低下が見込まれ、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益いずれも、前回予想を下回る見込みです。

(注) 上記の予想数値等の将来に関する記述は、発表日現在において入手している情報による当社の仮定及び判断に基づいており、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しております。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上